

生活福祉資金 総合支援資金  
特例貸付(再貸付) 借入申込書

受付	貸付コード	SX			
	市区町村社協	令和	年	月	日
	福岡県社協	令和	年	月	日

フリガナ	
氏名	
フリガナ	
住所	〒
電話番号	固定 携帯
自立相談支援機関への相談状況 <small>(該当する選択肢を○で囲み、日付を記入)</small>	ア 自立相談支援機関へ相談をしている。 相談日：令和____年____月____日 イ 自立相談支援機関へ相談をしていない。 相談予定日：令和____年____月____日

福岡県社会福祉協議会会長 殿

- 私は、引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響による収入の減少や失業等により生活に困窮し、日常生活の維持が困難となっており、そのため上記の通り総合支援資金特例貸付を借り入れたく申し込みます。
- 私及び私の世帯は、緊急小口資金及び総合支援資金の特例の借入が終了しています。
- 貸付け後は、早期自立に努めます。
- 私は現在、**生活保護**を受給していません。
- 私は現在、**自己破産の手続き**を行っていません。
- 本貸付金を事業の**運転資金**として使用しません。
- 私以外の世帯の者は、本特例貸付の借入を行っていません。
- 記入した**個人情報**については、本制度に必要な範囲で、**第三者に提供**することに同意します。
- 私は、貴社会福祉協議会が、貸付けに必要な範囲で、全国社会福祉協議会、他の都道府県社会福祉協議会、自治体、公共職業安定所、自立相談支援機関、家計相談支援機関等の**関係機関に照会し、私の個人情報の提供を受ける**ことに同意します。
- 私及び私の世帯の者は、**暴力団員ではありません**。また、借入期間中においても**暴力団員にはなりません**。私は、貴社会福祉協議会が必要に応じ官公署等から私又は私の世帯員に係る**暴力団員該当性情報の提供**を求めることに同意します。  
〔暴力団とは、「暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律」(平成3年法律第77号)第2条第2号にあるとおり、「その団体の構成員(その団体の構成団体の構成員を含む。)が集団的に又は常習的に暴力的不法行為等を行うことを助長するおそれがある団体」を指します。〕
- 貸付審査の結果、貸付不承認となった場合、理由は開示されないことに同意します。

◆上記 11 項目に同意し、生活福祉資金の借入れを申請いたします。

令和\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日 借入申込者(自署)